

中国におけるゴミ問題に対する取り組みについて

国際文化学部国際文化学科3年

1. はじめに

中国に留学に来る以前は、中国では至る所にごみが落ちており、ゴミの分別はきちんと行われていないのではないかというイメージがあった。しかし実際に中国に来て街や大学内を歩いてみると、様々な場所にゴミ箱が設置されており、またその内のゴミ箱のいくつかは分別式のゴミ箱になっていた。道にもそれほどゴミも落ちておらず、ポイ捨てをする人の姿を見かけることもめったにない。また清掃員の方が常に掃除を行っており環境の整備がきちんと行われていた。自分自身が思い描いていたイメージとは全く違っており、中国はゴミ問題に力を入れているように思える。そこで今回のレポートでは中国のゴミ問題に対する取り組みについて調査していく。



図 1.2：留学先・青島市で見つけた分別式のゴミ箱

2. ポイ捨てに対する取り組みについて

上記でも述べたが、留学前に自分自身が思い描いていたイメージとは違い、道にはあまりゴミが落ちておらずきちんと整備が行われているように感じた。この理由としては、至る所にゴミ箱が多く設置されていることや、清掃員の方が常に掃除を行っていることが挙

げられるが、それ以外の取り組みもあるのではないかと思います。

すると 2017 年に中国海南省海口市で、たばこのポイ捨てや自動車の窓からのポイ捨てに対する特別な取り締まりが行われていたことが分かった。この取り組みでは、市の都市管理局員や環境衛生、緑化担当者などが監視を行い、たばこのポイ捨てや、自動車からのごみのポイ捨てを発見した場合、制止したうえで証拠の撮影を行い、当事者には 50 元（約 800 円）の罰金が科されるようになっている。また交通警察官や監視カメラによって車窓からのポイ捨てが見つかった場合、自動車の所有者は交通違反の反則点も取られるようになっている。ポイ捨てをした当事者はメディアで公開されるとともに、法に基づき謝罪と誓約を行うことになるという。さらにポイ捨て行為を発見した市民による通報を奨励し、事実かどうかを確認したうえで車窓からのポイ捨てには 50 元、たばこのポイ捨てには 10 元（約 155 円）の通報報奨金を出すという取り組みが行われていた<sup>1</sup>。

またこれ以外にも、中国陝西省延安市では、2011 年に「たったひとつのゴミでも、ポイ捨ては罰金 1000 元～5000 元（約 15,500 円～77,800 円）」と書かれた横断幕が街中に掲げられたそうだ。中国の法律ではゴミのポイ捨てに対する罰金最高額は約 200 元（約 3100 円）となっているが、「脅し」としてこの横断幕を掲げたところその日以降、捨てられるゴミの量が明らかに減少している<sup>2</sup>。

中国らしいとも言える大胆な取り組みだが、これらの取り組みのおかげで現在の環境が整備された道を歩くことができるのではないだろうか。

### 3. ゴミ分別に対する取り組みについて

次に中国のゴミの分別について、またゴミの分別を促す取り組みはどのように行われているのか調査した。

中国では以前はゴミの分別は行われていなかったが、地球環境への配慮から 2017 年 3 月に国務院が「生活ゴミ分別制度実施計画」を発表し、2018 年から全国主要 46 都市でゴミの分別収集が試験的に実施されるようになった<sup>3</sup>。

今年 7 月には「生活ゴミ分別制度実施計画」に基づき、上海市で初めて「上海市生活ごみ管理条例」が実施され、「有害ゴミ」、「生ゴミ」、「資源ゴミ」、「燃えるゴミ」への四つ

---

<sup>1</sup> 市のポイ捨て特別取り締まりがかなり強烈！当事者はメディアでさらされ罰金&公開謝罪、通報者には報奨金も一中国

<https://www.recordchina.co.jp/b163500-s0-c30-d0052.html> (2019/11/30)

<sup>2</sup> 中国、ゴミのポイ捨ては罰金 6 万円キャンペーンに物議 / でも 3 日で街が超キレイになったよ

<https://rocketnews24.com/2011/11/05/149281/> (2019/11/30)

<sup>3</sup> 本当にできるの？ 中国で始まったゴミの分別

<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/55016> (2019/11/30)

のゴミの分別が始まり、集合住宅の掲示板や廊下、公共機関、企業などで、ごみの分類に関する掲示や、SNSでの情報提供、マニュアルの動画配信など啓蒙活動などが行われている。さらにゴミ捨てのルールを守らないと、個人の場合、最大で200元（約3100円）、企業の場合、最大で5万元（約77万円）の罰金が科せられる決まりになっている<sup>4</sup>。

突然行われるようになったゴミの分別に市民たちは戸惑いが隠せないようだが、自ら積極的にゴミの分別をするよう促すため、スマートフォンに「緑色帳戸」というアプリをインストールすれば、ゴミの分別を行う度にポイントが貯まり、貯まったポイントはお店で野菜や果物、卵などの生活用品と交換できるという取り組みが実施されている<sup>5</sup>。

またその他にもゴミの分別を促すために2018年に中国各地に登場したスマートゴミ箱がゴミの分別に貢献していることが分かった。このスマートゴミ箱には、「布類」「プラスチック」「紙類」「ペットボトル」「金属」の5つのゴミ箱が設置されており、すべてリサイクルをされるため、専用のアプリをスマートフォンにインストールし、ゴミ箱にあるQRコードを専用アプリからスキャンすれば捨てたゴミの重さに応じて、お金がもらえるというものだ。わずかとは言えお金がもらえるということから市民の人々が自主的に分別をするようになったそう<sup>6</sup>。

また私の留学先である山東省青島市では「スマートゴミ分類体験館」を開館している。この「スマートゴミ分類体験館」では写真、文字、電子映像などを活用して、見学者がゴミ分類の都市環境に与える影響などを体験することによって環境問題の意識のモチベーションを図り、ゴミの分別を推し進めている<sup>7</sup>。

近年行われるようになったゴミの分別において、様々な方法で人々が積極的に分別を行うことを促していることが分かった。特にゴミを分別することで自分自身に徳が生まれる

---

<sup>4</sup> 上海市でゴミ出し条例が施行、ごみの分類に頭を悩ませる中国人たち

<https://news.yahoo.co.jp/byline/nakajimakei/20190701-00132268/> (2019/11/30)

<sup>5</sup> 中国人にゴミの分別をさせるためにとられた方法

<https://study.1chinese.com/%e4%b8%ad%e5%9b%bd%e4%ba%ba%e3%81%ab%e3%82%b4%e3%83%9f%e3%81%ae%e5%88%86%e5%88%a5%e3%82%92%e3%81%95%e3%81%9b%e3%82%8b%e3%81%9f%e3%82%81%e3%81%ab%e3%81%a8%e3%82%89%e3%82%8c%e3%81%9f%e6%96%b9%e6%b3%95/> (2019/11/30)

<sup>6</sup> ゴミがお金になる。中国各地にスマートゴミ箱が登場

<http://tamakino.hatenablog.com/entry/2019/03/07/080000> (2019/11/30)

<sup>7</sup> 中国では「ゴミ分類」革命が起きている

<https://mediachinatopics.com/2019/06/09/%e4%b8%ad%e5%9b%bd%e3%81%a7%e3%81%af%e3%80%8c%e3%82%b4%e3%83%9f%e5%88%86%e9%a1%9e%e3%80%8d%e9%9d%a9%e5%91%bd%e3%81%8c%e8%b5%b7%e3%81%8d%e3%81%a6%e3%81%84%e3%82%8bi/> (2019/11/30)

という方法が多く取られているように感じる。

#### 4. おわりに

今回のレポートでは、留学前に自分自身が思い描いていたイメージとは全く違っており、中国はゴミ問題に対して力を入れているように感じたことから、中国のゴミ問題に対する取り組みについて調査した。

ポイ捨てをする人をあまり見かけず、道にあまりゴミが落ちていないという点に関しては、道に多くのゴミ箱が設置されていることや、清掃員の方が常に掃除を行っているという理由以外に、ゴミのポイ捨てに対して罰金を設けることや、ポイ捨てを通報することで報奨金を出すという取り組みによって、ポイ捨てのない街づくりを目指していることが分かった。さらにゴミの分別については、2017年に「生活ゴミ分別制度実施計画」が発表されたことから、ゴミの分別に力を注ぐようになり、またゴミの分別を促すために様々な取り組みが行われていることが分かった。

今後の課題としては、留学先の青島市にある「スマートゴミ分類体験館」に足を運び、中国のゴミ分類についてもう少し詳しく学びたいと考えている。また、現在は試験的に実施されているゴミ分別だが、これから本格化しどのように進んでいくのか注目していきたい。